

基本目標	重要業績評価指標 (KPI)	出典根拠	現状(基準)値		R2実績	評価 区分	R3実績	評価 区分	R4実績	評価 区分	R5実績	評価 区分	R6実績	評価 区分	R7実績	評価 区分	R7実績 (目標値)	目標設定の考え方(根拠)	担当課
			H26など	H30															
【基本目標1】 伊豆の国市にしごとをつくる	① 市内製造業の製造品出荷額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	107,665 【単位:百万円】	120,504 (目標値)	148,261 124,600	A	137,423 126,600	A	137,423 128,600	A	130,772 130,600	B	157,232 132,600	A	169,022 134,600	A	134,600	市の主要産業の1つである「製造業」の出荷額等は、年々増加傾向にあり新たな企業の進出も見込めるため、平成28年度を基準として令和7年度までに概ね10%の増加を目標値とする。	商工課
	② 市内小売業の小売販売額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	41,278 【単位:百万円】	43,543 (目標値)	43543 44,300	D	43543 44,675	D	50,084 45,050	A	50,084 45,425	A	50,084 45,800	A	50,084 46,175	A	46,175	市の主要産業の1つである「小売業」の販売額等は、年々増加傾向にあるため、平成28年度を基準として令和7年度までに概ね5%の増加を目標値とする。	商工課
	③ 市内農家の農業産出額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	3,650 【単位:百万円】	3,990 (目標値)	4,430 4,060	A	4,430 4,095	A	4,320 4,130	A	4,320 4,165	A	4,860 4,200	A	4,860 4,235	A	4,235	市の主要産業の1つである「農業」の農業産出額等は、年々増加傾向にあるため、平成29年度を基準として令和7年度までに概ね5%の増加を目標値とする。	農林課
	④ 企業立地補助金を活用した企業数	補助金実績	0 【単位:件/累計】	1 (目標値)	1 1	B	1 1	B	1 2	C	1 2	C	1 3	C	1 3	C	3	江間工業団地等の開発により新たな企業の進出を見込み、設定する全区画への参画を目標とする	商工課
	⑤ 創業塾を受けて起業した件数	市政報告書	6 【単位:件/累計】	8 (目標値)	12 8	B	24 16	B	39 24	A	50 32	A	66 40	A	81 60	A	60	創業塾は平成29年度から事業開始。受講済者のうち、平均7人が起業をしているため、年間8件を目標として令和6年度までの5年間で40件を目標とする。(補助金活用の有無は問わない。また、市内に事業所を構えた者を対象とする。)	商工課
【基本目標2】 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる	① 観光交流客数	観光基本計画アクションプラン／市政 報告書	224 【単位:万人】	211 (目標値)	92 212	D	121 213	D	190 214	D	163 215	D	182 216	D	200 217	D	217	平成26年度から平成30年度まで減少傾向にあるが、令和元年度実績で年間211万人を見込み、取組強化により前年度比1万人の増加を目標値とする。	観光課
	② 道の駅の来場者数	来場者実績	－ 【単位:万人】	21 (目標値)	23 36	C	27 37	C	33 38	C	32 39	C	34 40	C	33 80	C	80	平成30年11月にリニューアルオープン。官民連携で広く周知し、来場を促進している。いちごファクトリーと村の駅の来場者数を令和元年度実績で年間35万人を見込み、前年度比1万人の増加を目標とする。	観光課
	③ レンタサイクルの利用者数	利用者実績	2,176 【単位:人】	820 (目標値)	2,445 900	A	1,871 1,000	A	7,143 1,100	A	7,067 1,200	A	13,472 1,300	A	13,289 7,558	A	7,558	市内サイクルスポット等からレンタルした利用者数。平成29年から現在の体制で事業をスタート。令和元年度実績で年間800人を見込み、前年度比100人の増加を目標とする。	観光課
	④ スポーツイベントの参加者数	参加者実績	3,436 【単位:人】	3,626 (目標値)	1,475 3,700	D	849 3,750	D	1,146 3,800	D	1,843 3,850	D	2,056 3,900	D	1,989 3,900	D	3,900	市内のみならず市外からの参加するスポーツイベント(元旦マラソンやノルディックウォーキングなど)を対象。平成30年度実績から年50人増を目標とする。	生涯学習課
	⑤ 移住相談等を通じた移住者数	移住者実績	5 【単位:人】	13 (目標値)	27 20	B	47 25	A	73 30	A	39 35	B	42 40	A	40 45	C	45	出張移住相談や全国の移住フェア、移住体験ツアー等を通じて移住した人数。前年度比で5人増を目指す。	政策企画課
【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育て の希望をかなえる	① 婚姻届出数	市政報告書	511 【単位:件/累計】	473 (目標値)	430 471	D	838 936	D	1,283 1,396	D	1,678 1,850	D	2,125 2,299	D	2,577 2,299	A	2,299	本市人口ビジョンで設定した将来展望の人口減少率を用い、将来の婚姻届出推計値を算出。取組の強化により算出した推計値を上回る数を目標に設定する。	市民課
	② 出生数	伊豆の国市統計書	312 【単位:人/累 計】	268 (目標値)	234 267	D	477 530	D	699 791	D	898 1,048	D	1,079 1,302	D	1,266 1,302	D	1,302	本市人口ビジョンで設定した将来展望の人口減少率を用い、将来の出生推計値を算出。取組の強化により算出した推計値を上回る数を目標に設定する。	市民課
	③ 保育園待機児童数 (4月1日時点)	待機児童に関する調査	0 【単位:人】	0 (目標値)	0 0	A	0 0	A	0 0	A	0 0	A	0 0	A	0 0	A	0	毎年4月1日時点で、保育園の待機児童数0人の維持を目標とする。(総合計画の算出基準に統一する)	幼児教育課
	④ ファミリーサポートセンター事業利用者 数	第2次子ども・子育て支援事業計画／ 第3次次世代育成支援行動計画	86 【単位:人】	460 (目標値)	330 381	D	313 455	D	186 528	D	219 602	D	327 675	D	354 239	A	239	平成27年度から平成30年度まで着実に増加している。子育てをお手伝いしたい人(任せて会員)の確保に努めつつ、第2次子ども・子育て支援事業計画及び第3次次世代育成支援行動計画に基づいた人数を目標とする。	こども家庭 センター
	⑤ 伊豆の国子育てモバイル登録者数(3月 末時点)	保健事業報告	18.8 【単位:％】	47.4 (目標値)	57.4 49.0	A	60.1 50.0	A	69.4 51.0	A	79.2 52.0	A	85.0 53.0	A	89.0 80.0	A	80.0	平成26年度から着実に増加していた登録者数も、現在は横ばい傾向にあり、今後、大幅な増加を見込むことは難しいことから、令和6年度まで前年度比1%の増加を目指す。	健康づくり課
【基本目標4】 時代に合った住みよいまちをつ くる	① お達者度(男性)	静岡県公表	17.27 【単位:年】	17.74 (目標値)	17.88 18.00	C	17.97 18.00	C	18.38 18.00	A	18.37 18.00	A	18.37 18.00	A	80.1 79.90	A	79.90	平成26年度から平成30年度までに約0.5の延伸傾向にあるが、平成29年度は18.15と数値に増減があるため、毎年18.00を維持することを目標とする。	長寿介護課
	② お達者度(女性)	静岡県公表	21.20 【単位:年】	21.46 (目標値)	21.46 22.00	B	21.66 22.00	C	21.76 22.00	C	21.44 22.00	C	21.44 22.00	C	84.2 84.30	C	84.30	平成26年度から平成30年度までに約0.3の延伸傾向にあるが、平成28年度は24.45と数値に増減があるため、毎年22.00を維持することを目標とする。	長寿介護課
	③ 生涯学習きっかけづくり塾参加者数	参加者実績	3,360 【単位:人】	4,917 (目標値)	0 5,000	D	2,543 5,000	D	1,372 5,000	D	1,601 5,000	D	2,720 5,000	D	3,759 5,000	D	5,000	平成26年度から平成30年度まで増加傾向にあるが、定員数や各塾の実施回数に上限があることから毎年5,000人を維持することを目標とする。	生涯学習課
	④ 「防災対策」の市民満足度	市政世論意識調査	－ 【単位:％】	25.1 (目標値)	25.1 基準値+1	D	25.1 基準値+2	－	25.1 基準値+3	－	25.1 基準値+4	－	25.1 基準値+5	－	25.1 －	－	－	全世代を対象とした意識調査において、「防災分野」における市民の満足度を図る。令和2年4月に実施する調査の結果を基準値として、令和6年度までに基準値＋5%の増加を目標値とする。	危機管理課
	⑤ 「防犯対策」の市民満足度	市政世論意識調査	－ 【単位:％】	19.3 (目標値)	19.3 基準値+1	D	19.3 基準値+2	－	19.3 基準値+3	－	19.3 基準値+4	－	19.3 基準値+5	－	19.3 －	－	－	全世代を対象とした意識調査において、「防犯分野」における市民の満足度を図る。令和2年4月に実施する調査の結果を基準値として、令和6年度までに基準値＋5%の増加を目標値とする。	危機管理課

【KPIごとの評価区分について】

区分	基準の内容
A	「実績」が「R7年度目標値」以上のもの
B	「実績」が「評価年度目標値」以上「R7年度目標値」未満のもの
C	「実績」が「基準値」を超え「評価年度目標値」未満のもの
D	「実績」が「基準値」以下のもの
－	統計値が発表前または当該年度に調査がなかったものなど

【実績及び評価区分における下線箇所について】

評価時点において、指標が未公表であるため、直近の数値を用いてみなし評価を行った箇所